




令和 4 年度 施策評価表

施策	0302 芸術・文化の振興	施策担当部	教育委員会	部長	川下隆治
		施策担当課	文化振興課	課長	大野安生
施策の方針	芸術・文化に接する機会を提供するとともに、情報発信に努める。また、関係団体の育成・支援や小・中学生の文化活動を支援する。				
関連するSDGsのゴール	  				

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 芸術・文化事業への参加者数	人/年	13,066	13,000 7,831	13,000	13,500	13,700	13,700	60.2%	57.2%
②									
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

新型コロナウイルス感染拡大による影響が続いており、前年度よりは増加したが、達成できなかった。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	45,335	23,163	87,559	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	8,738	8,472	10,664	
	一般財源	36,597	14,691	76,895	
	人件費	8,467	8,686	—	
フルコスト	53,802	31,849	—		

施策の概要（細施策）

030201	芸術・文化に接する機会の提供	市民が優れた芸術・文化に触れることができるよう、多様なジャンルの芸術・文化を楽しむことのできる機会を提供するとともに、積極的な情報発信に努めます。
030202	芸術・文化団体の育成・支援	市民の主体的な芸術・文化活動の支援と活動の裾野の拡大を図るため、団体の育成・支援を行うとともに、団体間の相互交流を促進します。 また、将来を担う子どもたちの芸術文化活動の活性化を図るため、小・中学生の文化活動を支援します。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

コロナ禍でも芸術・文化活動が戻ってきた傾向が若干あるものの、感染状況次第で再び減少する可能性はある。活動が停滞、縮小すると、団体存続にも影響を及ぼすおそれがあり、活動経費面での支援の重要性はより高くなると考えられる。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

コロナ禍で市民の文化活動はまだ本来の活況は取り戻しておらず、活動経費の負担を和らげるため、市がしっかりと補助を行う必要がある。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	